

<症例 1> 38 歳 女性

【現病歴】

2022 年 6 月下旬、自施設での人間ドック時に行った婦人科検診で、ASC-H で要精査となったため、婦人科外来に受診。

【経 過】

2022 年 8 月 6 日 婦人科外来初診。
Colposcope にて 1cm 程の病変を認め、細胞診施行。
超音波検査では異常所見なし。

2022 年 8 月 10 日 細胞診の結果『Squamous cell carcinoma 陽性』

2022 年 8 月 23 日 円錐切除術目的にて入院。

2022 年 8 月 24 日 子宮頸部円錐切除術実施。

2022 年 8 月 27 日 経過良好にて退院。

2022 年 9 月 7 日 円錐切除術の結果、CIN3 であり、腫瘍も取りきれているので、
今後は外来で経過観察とする旨、本人と家族に説明。

《病理報告》

HSIL/CIN3

腫瘍は 10×8mm で、上皮内にとどまっている。切除断端（一）。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c 付加因子	
		720 内視鏡的治療		500 UICC c ステージ	
		721 内視鏡的治療 施行日			
310 側性		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
320 病理診断 《形態コード》		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
329 病理診断 《テキスト》		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
		740 放射線療法		640 UICC p 付加因子	
		741 放射線療法 施行日		600 UICC p ステージ	
330 診断根拠		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
350 当該腫瘍初診日		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝 c ステージ	
360 他施設診断日		750 化学療法			
370 自施設診断日		751 化学療法 施行日		580 c 進展度	
380 診断日		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p 進展度	
400 診断施設		756 化学療法 (開始後・他施設)			
410 治療施設		760 内分泌療法			
420 症例区分		761 内分泌療法 施行日			
450 来院経路		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
460 発見経緯		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		770 その他の治療			
700 外科的治療		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
701 外科的治療 施行日		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		780 経過観察選択			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		790 緩和的治療			

<症例 2> 45 歳 女性

【現病歴】

不正出血が 2 ヶ月続いたため、2022 年 7 月 20 日 A 婦人科クリニックを受診。

Colposcope を実施したところ、子宮頸部に 2cm 径のびらん状病変があり、子宮頸部細胞診施行。

細胞診結果報告『adenocarcinoma 陽性』。精査・加療目的に当院紹介となる。

【経 過】

2022 年 8 月 5 日 当院婦人科を初診。

Colposcope により子宮頸部に 2cm 径の病変あり。

2022 年 8 月 10 日 MRI 施行。

所見：周囲結合組織への浸潤は認めない。大動脈周囲リンパ節には腫大は認めない。

2022 年 8 月 16 日 検査目的で入院。

2022 年 8 月 17 日 子宮頸部円錐切除術施行。

2022 年 8 月 19 日 経過良好にて退院。

2022 年 8 月 25 日 円錐切除術の結果『Adenocarcinoma。断端陽性』

子宮頸癌の診断。治療方針として子宮全摘出術を行い、病理結果によっては化学療法を行うことが、本人と家族に説明された。

2022 年 9 月 7 日 手術目的で入院。

2022 年 9 月 8 日 単純子宮全摘出術、骨盤リンパ節郭清術施行。

2022 年 9 月 16 日 病理結果でリンパ節転移が確認されたため、化学療法開始

2022 年 9 月 27 日 経過良好にて退院。

《病理報告》

Endocervical adenocarcinoma, usual type

腫瘍は 30×25mm 径で、わずかに体部へ拡がっている。子宮傍組織への浸潤は認めない。

基靱帯リンパ節 4/7、内腸骨リンパ節 0/3、閉鎖リンパ節 0/3、外腸骨リンパ節 0/2、鼠径上リンパ節 0/2。

切除断端は剥離面も含め、陰性です。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c 付加因子	
		720 内視鏡的治療		500 UICC c ステージ	
		721 内視鏡的治療 施行日			
310 側性		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
320 病理診断 《形態コード》		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
329 病理診断 《テキスト》		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
		740 放射線療法		640 UICC p 付加因子	
		741 放射線療法 施行日		600 UICC p ステージ	
330 診断根拠		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
350 当該腫瘍初診日		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝 c ステージ	
360 他施設診断日		750 化学療法			
370 自施設診断日		751 化学療法 施行日		580 c 進展度	
380 診断日		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p 進展度	
400 診断施設		756 化学療法 (開始後・他施設)			
410 治療施設		760 内分泌療法			
420 症例区分		761 内分泌療法 施行日			
450 来院経路		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
460 発見経緯		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		770 その他の治療			
700 外科的治療		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
701 外科的治療 施行日		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		780 経過観察選択			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		790 緩和的治療			

<症例 3> 60 歳 女性

【現病歴】

1 ヶ月以上続く出血と下腹部痛があり、2022 年 7 月 11 日 C レディースクリニック受診。
経腔超音波検査で、子宮底部に 30mm 径の腫瘤を認めた。7 月 15 日子宮鏡下生検施行。
「Endometrioid carcinoma」の診断で、治療目的に当院紹介受診。

【経 過】

2022 年 7 月 26 日 当院初診。
2022 年 8 月 1 日 骨盤 MRI 施行。
所見：子宮周囲脂肪織への浸潤、右卵巣への転移を認める。
骨盤内リンパ節に転移と考える腫大を複数認める。
2022 年 8 月 9 日 前医での組織診、MRI 検査から、子宮体癌 右卵巣転移と診断。
手術および放射線治療を行うこと、手術の結果次第では化学療法も
検討することを、本人と家族に説明。
2022 年 9 月 6 日 手術目的で入院。
2022 年 9 月 7 日 単純子宮全摘術および両側付属器切除術施行。
骨盤および傍大動脈リンパ節郭清術施行。
2022 年 9 月 16 日 化学療法開始
2022 年 9 月 14 日 経過良好にて退院。
2022 年 10 月 6 日 放射線治療開始。

《病理報告》

Endometrioid carcinoma G2;

腫瘍は周囲結合組織への浸潤、右卵巣への転移、広間膜への播種を認める。

切除断端（－）。洗浄細胞診 陽性。

リンパ節郭清：基靱帯リンパ節 3/5、内腸骨リンパ節 2/5、外腸骨リンパ節 0/5、仙骨リンパ節 0/3、
傍大動脈リンパ節 0/5

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c 付加因子	
		720 内視鏡的治療		500 UICC c ステージ	
		721 内視鏡的治療 施行日			
310 側性		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
320 病理診断 《形態コード》		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
329 病理診断 《テキスト》		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
		740 放射線療法		640 UICC p 付加因子	
		741 放射線療法 施行日		600 UICC p ステージ	
330 診断根拠		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
350 当該腫瘍初診日		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝 c ステージ	
360 他施設診断日		750 化学療法			
370 自施設診断日		751 化学療法 施行日		580 c 進展度	
380 診断日		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p 進展度	
400 診断施設		756 化学療法 (開始後・他施設)			
410 治療施設		760 内分泌療法			
420 症例区分		761 内分泌療法 施行日			
450 来院経路		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
460 発見経緯		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		770 その他の治療			
700 外科的治療		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
701 外科的治療 施行日		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		780 経過観察選択			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		790 緩和的治療			

<症例 4> 55 歳 女性

【現病歴】

3 年前、子宮筋腫と診断され、B 総合病院で経過観察がされていた。

2022 年 6 月 7 日の定期検査時、それまで 5cm 径だった筋腫が 8cm 径に増大。

肉腫が疑われ、精査・加療目的に当院紹介受診。

【経 過】

2022 年 6 月 23 日 紹介初診。

2022 年 6 月 27 日 経膈超音波検査施行。子宮体部に 10×8cm 径の腫瘤を認めた。

2022 年 7 月 1 日 MRI 施行。子宮体部前壁の筋層内に境界不明瞭な腫瘤を認めた。
画像所見から、筋腫が悪性転化した平滑筋肉腫と考えます。
手術を行うことを、本人と家族に説明。

2022 年 7 月 20 日 手術目的で入院。

2022 年 7 月 21 日 単純子宮全摘出術＋両側付属器摘出術を施行。

2022 年 8 月 2 日 経過良好にて退院。

《病理報告》

Leiomyosarcoma G1

子宮体部前壁に 10×8×8cm の平滑筋肉腫を認める。付属器や周囲組織への進展は認めない。

郭清リンパ節は陰性です。

断端陰性。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c 付加因子	
		720 内視鏡的治療		500 UICC c ステージ	
		721 内視鏡的治療 施行日			
310 側性		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
320 病理診断 《形態コード》		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
329 病理診断 《テキスト》		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
		740 放射線療法		640 UICC p 付加因子	
		741 放射線療法 施行日		600 UICC p ステージ	
330 診断根拠		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
350 当該腫瘍初診日		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝 c ステージ	
360 他施設診断日		750 化学療法			
370 自施設診断日		751 化学療法 施行日		580 c 進展度	
380 診断日		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p 進展度	
400 診断施設		756 化学療法 (開始後・他施設)			
410 治療施設		760 内分泌療法			
420 症例区分		761 内分泌療法 施行日			
450 来院経路		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
460 発見経緯		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		770 その他の治療			
700 外科的治療		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
701 外科的治療 施行日		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		780 経過観察選択			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		790 緩和的治療			

<症例 5> 70 歳 女性

【現病歴】

1 ヶ月くらい前から外陰部にかゆみがあり、痛みを感じるようになったため、2022 年 6 月 15 日 D 婦人科クリニックを受診。悪性腫瘍を疑い、当院婦人科を紹介受診。

【経 過】

2022 年 6 月 23 日 当院婦人科初診。
大陰唇の一部に白斑が見られ、生検施行。
Colposcope にて、子宮頸部や腔に異常所見は認めない。

2022 年 6 月 30 日 経膈超音波検査施行。
所見：子宮内部、左右卵巣に異常所見は認めない。
初診時の生検結果『Squamous cell carcinoma』

2022 年 7 月 6 日 骨盤 MRI 施行。
大陰唇部分に 10mm 径の腫瘍が認められる。他、異常所見は認められない。

2022 年 7 月 12 日 生検、画像所見より「外陰癌」の診断。
腫瘍の部分を切除する旨、本人と家族に説明。

2022 年 8 月 3 日 手術目的で入院。

2022 年 8 月 4 日 局所切除術施行。

2022 年 8 月 9 日 経過良好にて退院。

≪病理報告(手術)≫

Differentiated-type intraepithelial neoplasia

腫瘍は 10×12mm 径で、大陰唇の表皮内にとどまっている。
切除断端陰性。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c 付加因子	
		720 内視鏡的治療		500 UICC c ステージ	
		721 内視鏡的治療 施行日			
310 側性		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
320 病理診断 《形態コード》		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
329 病理診断 《テキスト》		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
		740 放射線療法		640 UICC p 付加因子	
		741 放射線療法 施行日		600 UICC p ステージ	
330 診断根拠		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
350 当該腫瘍初診日		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝 c ステージ	
360 他施設診断日		750 化学療法			
370 自施設診断日		751 化学療法 施行日		580 c 進展度	
380 診断日		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p 進展度	
400 診断施設		756 化学療法 (開始後・他施設)			
410 治療施設		760 内分泌療法			
420 症例区分		761 内分泌療法 施行日			
450 来院経路		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
460 発見経緯		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		770 その他の治療			
700 外科的治療		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
701 外科的治療 施行日		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		780 経過観察選択			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		790 緩和的治療			

<症例 6> 65 歳 女性

【現病歴】

血液が混じったおりものがあり、2022 年 7 月 15 日近所の F 産婦人科医院を受診。内診時腔内に腫瘍を触知し、精査・治療目的に当院婦人科紹介受診。

【経 過】

- 2022 年 7 月 22 日 当院婦人科初診。
内診で腔右側、中央より頸部側に隆起性腫瘍を触知し、生検施行。
Colposcope にて、子宮頸部に異常所見は認めない。
- 2022 年 7 月 28 日 初診時の生検結果『Squamous cell carcinoma』
- 2022 年 8 月 4 日 骨盤 MRI 施行。
腫瘍は腔壁内にとどまっている。子宮、左右卵巣等、他異常所見は認められない。
検査所見より「腔癌」の診断。腫瘍部分を切除する旨、本人と家族に説明。
- 2022 年 8 月 17 日 手術目的で入院。
- 2022 年 8 月 18 日 腔壁部分切除術施行。
- 2022 年 8 月 26 日 経過良好にて退院。

≪病理報告(手術)≫

Squamous cell carcinoma

腫瘍は 10×8mm 径で、腔壁内にとどまっている。

切除断端陰性。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c 付加因子	
		720 内視鏡的治療		500 UICC c ステージ	
		721 内視鏡的治療 施行日			
310 側性		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
320 病理診断 《形態コード》		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
329 病理診断 《テキスト》		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
		740 放射線療法		640 UICC p 付加因子	
		741 放射線療法 施行日		600 UICC p ステージ	
330 診断根拠		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
350 当該腫瘍初診日		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝 c ステージ	
360 他施設診断日		750 化学療法			
370 自施設診断日		751 化学療法 施行日		580 c 進展度	
380 診断日		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p 進展度	
400 診断施設		756 化学療法 (開始後・他施設)			
410 治療施設		760 内分泌療法			
420 症例区分		761 内分泌療法 施行日			
450 来院経路		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
460 発見経緯		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		770 その他の治療			
700 外科的治療		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
701 外科的治療 施行日		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		780 経過観察選択			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		790 緩和的治療			